

事務事業名	社会教育施設整備事業		所属部	吉田総合センター	所属課	自治振興課			
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	自治振興G	課長名	渡部一雅		
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	大谷美里		電話番号	0854-74-0211 (内線) 4415	
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。					
	基本事業	〈089〉地域文化の保存継承		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	社会教育施設整備事業
目的対象	市民	意図	地域文化を次世代に伝える。				中事業	中事業名	社会教育施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民、市外からの来館者	展示施設を整備することにより、来館者がたたら製鉄の歴史・文化の理解を深める機会を確保する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度～ R4 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町郷土資料館の改修(屋根、木橋) ・オープンエアミュージアム浄化槽改修 ・オープンエアミュージアム受電方式変更工事
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町郷土資料館改修(屋根、木橋) ・オープンエアミュージアム浄化槽改修工事 ・オープンエアミュージアム受電方式変更工事協議 	吉田町郷土資料館の屋根は長年茅葺屋根での改修を目指していたが、腐食が進み、雨漏りが発生したことから対応を急ぐ必要があり、景観に配慮したデザインで、維持管理の負担が少ない金属屋根(ガルバリウム)での改修へ計画を変更した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 菅谷たたら山内入館者数	人	8,364	3,767	4,676	4,800
イ 吉田町郷土資料館入館者数	人	4,751	2,113	2,837	3,000
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	財源内訳	② コストの推移				
		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
・資料館改修工事 22,550千円		国庫支出金	千円			
・浄化槽設置工事 1,478千円		県支出金	千円			
・浄化槽法定検査 10千円		地方債	千円		21,400	
【財源:その他】		その他	千円			4,840
R3年度 合併特例債		一般財源	千円		2,638	
	事業費計	千円	0	0	24,038	4,840

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館の屋根の改修を終えたことで、施設の展示資料を守ることができた。また、茅葺屋根から金属屋根に変更したことにより維持管理の負担が軽減された。 ・木橋の修繕により、来館者が安全に観覧できるようになった。 ・浄化槽の改修により、市が所有する施設の浄化槽を整理することができ、R4年度以降の維持管理費を削減することができた。
② 事業実施するうえでの課題	・オープンエアミュージアムエリアは、市有施設と民間所有施設が混在しており、設備の一部をエリア内で共同で使用している。今後、設備を使用及び整備をする上で、責任の所在を明確にしていける必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・エリア内の民間施設所有者と協議しながら、整理を進める。